第 20 回 関東甲信越地区技術職員懇談会のご案内

国大協関東甲信越地区の大学・研究所の技術職員の技術交流を深めるために、 2022 年 4 月にこの懇談会を発足しました。 技術の共有、技術協力、技術研修の共用などのつながりが深まることを目指して、毎月第 2 週の金曜日に開催しています。

毎回多くの技術職員の方々に参加いただき、各々の機関の話題を提供していただいております。今回で節目の 20 回を迎えることができました。ひとえに皆さまに支えられての事とこの場を以て御礼かたがたご挨拶を申し上げます。今後も引続きご参加いただけますよう、宜しくお願い致します。

https://www2.kek.jp/engineer/tsukuba/kondan/

記

日時：2024 年 7 月 12 日（金）16:00 ～
Zoom URL：
https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZ0ocOmqpjIqEt3CPpZICsf_Y17SYsd6Pss9
（登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。）

講演

１．新潟大学 工学部技術部　安中　裕大　氏
タイトル：「テラヘルツ周波数帯の電磁波発生の技術」
概要：テラヘルツ周波数帯の電磁波であるテラヘルツ波の技術開発は他の周波数帯の電磁波と比べて遅れており、近年盛んに研究されている。新潟大学では電子ビームを利用した大出力テラヘルツ波源が研究されている。電子ビームの発生に高電圧を使用しており、安全に実験を行うため技術職員も実験に参加している。本発表ではテラヘルツ波源の研究開発において行っている業務を紹介する。

２．高エネルギー加速器研究機構　加速器研究施設　荒木　栄　氏
タイトル：「KAGRA（大型低温重力波望遠鏡）加速器アライメント業務を応用して KAGRA プロジェクトへの技術協力」
概要：加速器では、沢山の装置を緻密に配置することが求められます。普段私は、KEK の先端加速器試験施設（ATF)を主として精密アライメントを行なっています。

岐阜県飛騨市神岡町にある神岡鉱山の地下約 200 メートルのトンネル内には、重力波を検出する装置 KAGRA（かぐら：大型低温重力波望遠鏡）が設置されています。KEK はこの重力波観測プロジェクトの共同研究ホストとして参加しており、極低温ミラー懸架システムなどを開発しました。今回、KAGRA で行った精密アライメントをメインに大型装置の精密測量や精密組立に関

する業務の紹介をします。

次回以降のご案内
第回 21 関東甲信越地区技術職員懇談会のご案内
日時：2024 年 9 月 13 日（金）16:00 ～

以上

関東甲信越地区技術職員懇談会世話人一同